

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 12 日

事業名称		上北台公民館事業費 [上北台公民館事業]							
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号	6	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	中央公民館 課 上北台公民館			係	課長名		伊藤 智		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1-2 ・ 5-3		
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立						総合計画書(ページ)	35・110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民			上北台地区の人口(R4年3月31日現在)					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
地域で、学習の場に参加できる。			①公民館主催事業参加者(職員・講師含む) → ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(R4年3月末現在)						
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤上北台公民館だよりの発行			①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 → ④施設の利用率 ⑤上北台公民館だよりの発行回数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	人	4,582	4,527	4,547			
	成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	①2,113 ②21,914 ③62	①807 ②11,998 ③61	①574 ②14,480 ③55			
	目 標	②の目標値	①人 ②人 ③グループ	①2,000 ②20,000 ③70	①1,000 ②15,000 ③70	①1,000 ②15,000 ③60			
	目標値設定の考え方 コロナ禍における利用者の活動の自粛や事業の縮小を踏まえて、前年度の数値を維持する。								
活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	①16 ②41 ③4 ④63.2 ⑤3	①10 ②27 ③1 ④49 ⑤3	①12 ②28 ③1 ④53.66 ⑤3				
3 経費	事業費(実績)		円	3,801,063	3,096,413	2,464,273	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	3,696,573	3,039,753	2,390,263			
		特定財源(国・都・他)	円	104,490	56,660	74,010			
		(うち受益者負担)	円	104,490	56,660	74,010			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
職員人件費(再任用以外)		円	8,310,000	8,380,000	8,250,000				
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	12,111,063	11,476,413	10,714,273				
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成5 年度							
	(2) 環境の変化	平成5年5月10日、市内5番目の公民館として開館。 平成27年10月より、公共施設予約システムを導入。 講座後に新たに自主活動を始める保育付サークルも少しずつ増えてきているが、子どもが卒室すると継続しにくい現状がある。							

事業名称	上北台公民館事業費 [上北台公民館事業]					
担当部署・課長名	中央公民館	課	上北台公民館	係	課長名	伊藤 智

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休館や利用制限について問合せを受けた。公民館有料化について、今後の方針を知りたいという要望があった。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：③、⑥、⑦
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
	日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために必要である。	
	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 市民が希望する講座や事業を実現するために、適正な予算の確保など環境を整えていく必要がある。また新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策をしながら、新たな形式での事業を検討する必要がある。	
8 施策貢献状況	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。	
	予算のかからない講座を実施するなど、実施形態の工夫をした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインでの会議の主催方法を学ぶ講座を市民向けに企画、実施した。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 市民が希望する講座や事業を実現するために、適正な予算の確保など環境を整えていく必要がある。また新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策をしながら、新たな形式での事業を検討する必要がある。	
9 今後の方向性	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
	施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】 講座や事業に市民が積極的に係れるような内容の企画を実施していく。	
9 今後の方向性	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
	講座や事業に市民が積極的に係れるように、コーディネートするための知識を持った職員が継続的に関わっていく必要がある。	